

**県立相原高等学校 学校教育計画**  
(中期計画期間：平成 24 年度～平成 27 年度) 平成 26 年度改訂

課程・学科	全日制・農業科／商業科	校長名	齊藤 一美
-------	-------------	-----	-------

### 1 果たすべき役割

神奈川県唯一の農商専門高校として、行動力あふれる人間の育成、および、新たな産業の創出やグローバル社会に柔軟に対応できる人材を育成する。

また、地域に根ざした様々な産業との連携を重視した教育を展開し、発展させることで、夢と活力ある産業人を育成する。

### 2 教育目標

- 普通教科教育とともに、農業および商業の専門教科教育を通して、思考力・判断力・表現力に基づく高い教養と、人間性の豊かな生徒を育てる。
- 専門教科に関する学習や活動を通じて、自然と人間社会の共生を考え、様々な産業分野で役立つ知識と技術を学び、社会で活躍できる生徒を育てる。
- コミュニケーション能力を育成し、実社会に通用するマナーを身につけ、状況に応じた行動ができる、モラルの高い生徒を育てる。

### 3 特色ある教育

- 実験・実習を取り入れた、実践的な教育を行っている。
- 学校生産物を製造し、文化祭、チャレンジショップ、地域イベントなどで販売を行っている。
- 学年ごとに計画的な進路ガイダンスを実施している。
- 地域イベントへ参加や、学校施設の開放（菜の花畑 コスモス畑 動物ふれあい広場）を行っている。

### 4 現状と課題

- 畜産科学科・食品科学科・環境緑地科の3つの農業系分野に分かれており、専門性を重視した3か年分のカリキュラムや校外学習等の教育プログラムを提供するための教職員および教育予算が不足している。施設・設備の老朽化も進んでおり、教育環境の整備が必要である。
- 総合ビジネス科に新規学科改編統合していく商業の新たな取り組みに向けた全職員体制の構築が必要である。
- 農業科間・および総合ビジネス科の専門教育の各分野と普通教科教育全体を見渡した学校づくりが急務であり、学校運営体制・校務グループ体制を根本から見直し、全職員の情報共有のもと、農業科・総合ビジネス科を有する特色ある専門高校づくりを促進させる必要がある。
- 仮設校舎であることを含め、従来から職員室が10か所以上に分散され、職員の日常的な情報共有が他校に比較して困難である。その環境のもと、ICT校内ネットワークを駆使して、情報共有を意識的に進めていく必要があり、またその環境整備および職員のICTスキルアップ研修が課題である。
- 職員が一同に会することができる職員室を整備する必要がある。

5 中期目標と主な方策

	視点	中期目標	目標達成に向けた主な方策
1	幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育の展開  <教育課程>	環境緑地科・総合ビジネス科への学科改編を踏まえ、新学習指導要領に基づく新たな学校としての教育課程開発とその定着を図る。 すべての科目で思考力・判断力・表現力を育成し、学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シラバスの改善、および学校設定科目の開発とその共有化</li> <li>農業科のコンセプトの明確化</li> <li>総合ビジネス科のコンセプトの明確化</li> </ul> <p style="text-align: right;"><u>(以上全て1～3年目)</u></p>
2	生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援  <生徒指導・支援>	組織的な生徒指導体制を確立する。 部、生徒会・委員会、農業クラブ、商友会における生徒の主体的な活動の支援を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の把握と問題点の洗い出し(1年目)</li> <li>指導方法の多様化への取り組み</li> <li>支援教育体制や生徒相談の充実</li> <li>部、生徒会・委員会、農業クラブ、商友会の活性化</li> </ul> <p style="text-align: right;"><u>(以上1～3年目)</u></p>
3	確かな学力の向上  <学習指導・授業改善>	授業改善の徹底と評価のあり方の研究を行う。 生徒の能力を引き出す指導体制を作る。 中学校との相互授業公開の実施と教員研修を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に準拠した評価法の再構築<u>(1～3年目)</u></li> <li>中学校との相互授業公開を実施(1年目)</li> <li>生徒が求める学習のニーズの把握(1年目)</li> <li>基礎的および発展的学習の補習(2・3年目)</li> </ul>
4	社会生活実践力の育成  <キャリア教育>	マナー教育の推進・道徳教育の組織的な取り組みを実践する。 生徒の進路希望を叶えるための指導体制を作る。 勤労観・職業間の育成と教員の意識強化の取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的なマナー指導(1～3年目)</li> <li>実社会で求められる人物像と必要なスキル(資格ではない)の調査および、育成するために必要な教員像の研究(1～3年目)</li> <li>教員のスキルアップに向けての意識改革(2年目)</li> </ul>
5	地域との協働・連携による開かれた学校づくり  <地域等連携>	学校全体としての取り組みを強化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同活動、貢献活動の把握と効果の検証・見直し・実施(1～3年目)</li> </ul>
6	信頼に根ざした学校づくりの推進  <学校運営・学校管理>	全職員が一同に会すことのできる職員室を整備し、学校運営全般に全職員が関わることのできる環境と組織づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有と事故防止対策校内ネットワーク環境の整備と職員のICTスキルアップ研修の実施前例にとられず、神奈川県唯一の先進的な農商専門高校としての校内組織の構築</li> </ul> <p style="text-align: right;"><u>(以上全て1～3年目)</u></p>